

## 各ワーキングの取組状況

<b>魅力発信・観光・商業地賑わいワーキング (商業地賑わい部会)</b>		担当取組項目： 商業施設等 97～105 雇用 111, 112
<p>【第3回推進会議以降の主な取り組み】</p> <p>○2部会（情報発信グループ、商業地賑わい部会）に分けて検討を行い、同日開催として両部会の連携を図っている。</p> <p>○向島駅前まちづくり協議会、愛隣館等の地域団体が主催する「第3回 元気バザール（12/23）」が開催された。事業者と地域が連携したマルシェの取組が軌道にのってきた。①向島藤ノ木学区や向島・向島南学区との連携、②ニトリや商店会との連携、③向島駅前活性化の取組といった、今後の賑わいづくりの課題が見えてきた。</p> <p>○情報発信グループの活動がスタートし、タウン誌発行を中心とした情報発信の取組が軌道にのってきた。</p> <p>○ニトリ開店に向けた大店法に係る説明会についてニトリ・公社から依頼を受けて、情報発信グループが広報に協力した。</p>		
主な構成メンバー (敬称略)	リーダー	中嶋（中嶋農園）、戸田（中小企業家同友会）、神門（向島駅前まちづくり協議会）
	進捗管理	京都市住宅供給公社、アルパック
	地域住民	増田（1街区）、西田（3街区）、橋爪（3街区）、橋本（藤ノ木赤十字支部長）、宇野（向島東公園愛護協力会）、福井（二の丸北各種団体連絡協議会）、上代（向島学区自主防災会）、奥田（向島学区）、神門（向島駅前まちづくり協議会）、西谷（向島南学区）、田嶋（向島藤ノ木学区社協他）他
	事業者	向島ニュータウン商店会、中嶋農園、山本牛乳店、千姫を偲ぶ会、中小企業家同友会 他
	その他	すばる高校、京都市住宅供給公社、伏見区役所 他
今年度取り組むプログラム・取組	7	まちあるきマップ作成と歴史のまちあるき企画の実施
	8	向島秋の祭典・千姫行列等地域のまつりの実施
	9	農を活かした来訪者の呼び込み
	21	ポータルサイト開設・運営
	22	タウン誌の発行
	23	地域放送局（団地ラジオ）の設立・運営
	97	24号線沿い賑わい施設整備の検討
	98	向島ニュータウン商店街の空き店舗及び広場の活用
平成30年度 主な活動の報告	第1回ワーキング会議（4/21）	洛西マルシェ視察
	第2回ワーキング会議（6/9）	南港DIYマーケット視察（7/1） 向島駅前わいわい元気バザール（6/24）
	第3回ワーキング会議（7/22）	浜大津こだわり朝市視察（8/19）
	第4回ワーキング会議（9/1）	元気バザール・むかいじま すまいるマルシェ（9/23） 向島まつり（10/28）
	第5回ワーキング会議（11/10）	
	第6回ワーキング会議（1/19）	向島駅前わいわい元気バザール（12/23）

### 第3回向島駅前わいわい元気バザール 平成30年12月23日(日)

- ・共催 NPO 向島駅前まちづくり協議会, 愛隣館, チャンドラ・セカール・アカデミーインターナショナルスクール 等
- ・日時・場所 12/23(日) 10時~14時 向島駅前中央公園西詰め広場
- ・内容 新鮮野菜市 手作り小物とバザー 天然酵母のパン・ケーキ ヨガ教室



### 第6回ワーキング 平成31年1月19日(土) 参加者: 12名

#### ○協議事項

経過報告 わいわい元気バザール(12/23実施), むかいじますまいるマルシェ(9/23(日), 10/28(日)実施), ニトリの説明会, 情報発信グループの活動

#### ○今後の取組

- ・第4回元気バザール(3/24(日)午前10時~, 中央公園西詰め広場, 開催予定)
- ・ニトリの説明会(2/26(火)午後7時~, 向島セミナーハウス2階研修室, 開催予定)  
ニトリ・公社の依頼を受けて, かわら版を活用して説明会の広報を行う。
- ・情報発信グループ会議(1/24(木), 2/20(水), いずれも午後2時~, 3街区C棟集会所)

## \*向島まちづくり情報発信グループの取り組みについて

2019年2月18日 神門

### (1) 小冊子『むかいしま だいすき』発行の準備について

- ① デザイナーの森川さんを含め、編集委員会を立ち上げこれまでに4回の「編集会議」を行っている。
- ② 第2回編集会議で、小冊子のネーミングを:『むかいしま だいすき』とすることに決めた。
- ③ 8ページ、大きさは20cm×20cmの正方形、オールカラーとし、3月中に第1号発行の発行をめざしている。
- ④ フリーペーパー(小冊子)『むかいしま だいすき』は、向島で暮らす人たち。歴史、自然、食文化などを通して、「向島」の多彩な魅力を発信していくことをめざしています。
- ⑤ 発行部数について:7000部~8000部。向島ニュータウン内で全戸配布を行うとともに、施設や喫茶店、商店などに置いていただく。
- ⑥ 8Pの版立てについて

\*1P:表紙:2月17日(日)10時~11時30分の「朝市」を背景に、小さな子ども、お母さん、おばあさんの3世代を中心にした写真を撮影し、表紙とする。

\*2P:コンセプト ※別紙。あわせて、編集メンバーの紹介。

※向島秀蓮小中学校及び向島中央公園の画像を掲載する。

\*3P:注目の人:宮本ファームの宮本直嗣さんとし、1月22日(火)に宮本さんのお店で取材を行った。神門、奥田、濱田、森川の4人が参加

\*4P:お店紹介:農園レストラン「アグリ」を昨年12月17日(月)に取材を行った。亀村、福井、奥田、菅(11街区)、濱田、森川の6人が参加

\*5P:若い人からのメッセージ。第1回は、「京都文教大学学生放送局の紹介とその取り組み」を予定していたが、向島の若い人たちを取り上げるとの方向で、各所取材先を検討した。結果、向島南学区のキッズ・ダンスチーム「M's HOUSE」を紹介することにし、神門が取材を行った。

\*6P:第1回は、向島城について。京都文教大学の小林先生に原稿と画像をお願いしている。

\*7P:イベント情報・行事カレンダー及び「向島の四季」の画像を掲載。「向島の四季」の画像は、福井さん、健康プラスの門川さん、神門が提供

\*行事については、掲載するものを福井さん、奥田さんを軸に検討する。

\*8P:広告。広告については、福井さんと神門で集める。

※広告料金の検討

- ⑦ 次号の発行予定:来年度「ステップアップサポート事業補助金」に応募し、それが認められれば9月~10月に発行する

### (2) 向島まちづくり「かわらばん」の発行

「(仮称)ニトリ向島ニュータウン店 大規模小売店舗立地法に基づく地元説明会のお知らせ」を掲載したものを作成。1街区~11街区の各棟1階エレベーターホールなどに掲示をお願いしている。

### (3) 「向島まちづくり通信」の発行：3月発行予定14号

向島各地で広がる「高齢者の居場所づくり」の取り組み、近鉄バス利便性向上の取り組み  
向島南学区「とんど」、防災の取り組み、2月2日アジアアフリカとびっきり映画祭、ニトリの続  
報、2月17日まちづくりシンポなどを掲載予定。

### (4) 「向島まちづくり情報発信グループ」次回会議

2月20日（水）午後2時～3C棟集会室

以上

---

### 新しいタウン誌『むかいしま だいすき』：2P（コンセプト）

2019年2月18日 神門

「向島」が歴史に初めて登場したのは、1592年（文禄元年）に豊臣秀吉が伏見区桃山  
町泰長老あたりに隠居のための屋敷の建設をはじめ、その後指月伏見城（しげつふしみじょ  
う）として本格的な城に改築した時のことです。

このとき、巨椋池（おぐらいけ）に浮かぶ島「向島」に、徳川家康の屋敷が築かれ、豊臣  
秀吉によって向島城が築られました。

小冊子『むかいしま だいすき』では、巨椋池の干拓によって大きく広がった「向島」で  
暮らす人たち、歴史、自然、食文化などを通して、「向島」の多彩な魅力を発信していきた  
いと思います。

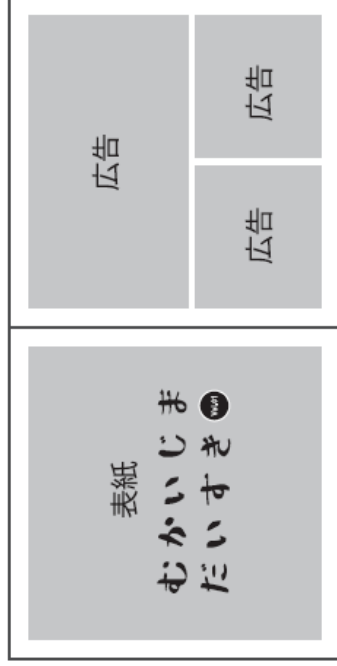
向島まちづくり情報発信グループ代表 神門正和

※向島秀蓮小中学校の画像、向島中央公園の画像 を掲載

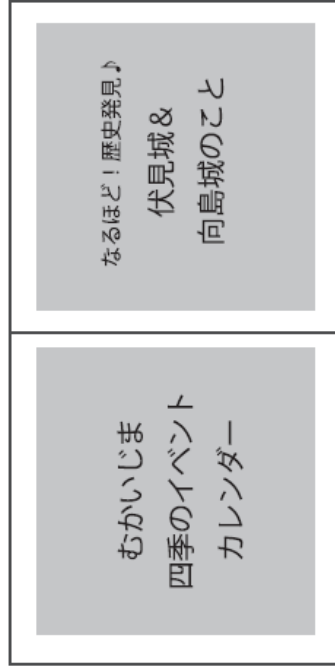
右綴じ 8P カラー 上質110K



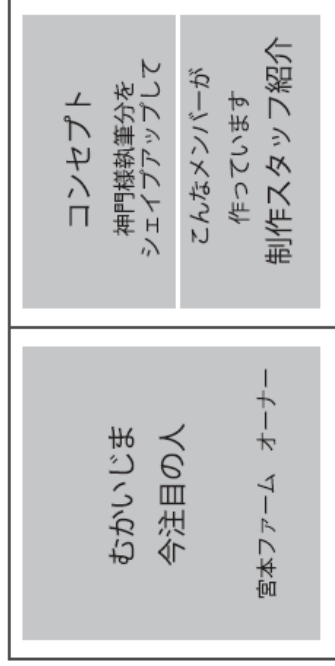
4-5



1-8



6-7



2-3

<b>住環境+防犯</b>	担当取組項目： ・住環境：24～40, 65, 66, 106～110 ・防犯：88～96	
<p>【第3回推進会議以降の主な取り組み】</p> <p>○住環境パトロール</p> <p>① 向島中央公園や② 向島秀蓮小中学校の通学路（予定）にて、住環境パトロールを実施した。危険箇所の洗い出しを行い、改善に努めていく。次回は2月23日（土）に、向島中央公園の工事が完了した場所を中心に実施予定である。</p> <p>○近鉄バスの改善</p> <p>近鉄バスの運行ダイヤや経路の改善のため、赤字路線である現状を改善することも重要である。改善案については引き続き検討し、乗車数の増加の方策や改善するにあたって必要な費用について検討していく。</p> <p>○2018年度中央公園改修工事について</p> <p>北側フェンスの撤去等、工事が開始している。（予定されている）電動車いす使用者が公園の全出入口を通行可能とする工事等、工事後の状況について確認を行っていく。</p>		
<b>主な構成メンバー</b> （敬称略）	<b>リーダー</b>	小林（京都文教大）、（防犯：雪丸（向島藤ノ木防犯推進協議会））
	<b>進捗管理</b>	京都市都市総務課
	<b>地域住民</b>	増田（向島二ノ丸学区子ども見守り隊）日高（二の丸北学区社協）、福井（二ノ丸北各種団体連絡協議会）、宇野（向島東公園愛護協力会）、山内（向島藤ノ木学区民生・児童委員協議会）、山崎（向島中央公園愛護協力会）、神門（向島駅前まちづくり協議会）、高木（笑顔つながろう会）、田嶋（8,9 街区自治会長）、内林、福岡、森田（1 街区）、橋詰（3 街区）、志賀（5 街区）、松本（6 街区）、中西（向島；伏見地域交通安全活動推進委員協議会、向島交番協議会、向島防犯委員）、駒井（向島二ノ丸；交通安全推進委員）、山本（向島南；世界一安心安全おもてなし担当者会議、安心安全ネットワーク）、長井（伏見区平安レディース隊向島藤の木支部）他
	<b>その他</b>	山本（市住宅公社）、村重（区役所地域力推進室）他
<b>今年度取り組むプログラム・取組</b>	31 34 38 39 65 91 93 96	市営住宅集会所のリニューアル整備 中央公園、東公園の樹木等の再整備 市営住宅・住宅供給公社共用施設、設備の改修 住民参加による老朽化した共用施設の再整備 住環境パトロール活動の実施 住民による美化活動の充実 安全・危険情報の地域内周知、高齢者や障害者が参画する防犯活動 横断歩道の場所改善・拡充
<b>平成30年度 主な活動の報告</b>	<b>第6回 WG 会議</b>	○向島中学校跡地の暫定利用について ○近鉄バスの運行改善方策検討の進め方について ○2018年度向島中央公園の改修工事について ○住環境パトロールについて ○今後のWGの進め方について

	第7回 WG 会議	<p>○向島二の丸小・向島中跡地の地元利用検討合同 WG について</p> <p>○近鉄バスの運行改善の検討について</p> <p>○2018 年度向島中央公園の改修工事について</p> <p>○住環境パトロールについて</p>
--	--------------	--

**第6回ワーキング 平成30年12月4日（火） 参加者：11名**

○向島中跡地地元利用検討合同ワーキングについて

・向島中学校北側歩道は夜間の照明が暗く、閉校後は特に防犯上、危険があるのではないかと指摘があり、向島中跡地地元利用検討合同ワーキングへ対策を要望する。

○近鉄バスの運行改善方策検討の進め方について

・改善要望案を審議し、この案に「現路線を中書島経由に変更する。」を追記する。その他、向島地域にマイクロバスを導入、地下鉄の向島駅までの延伸、敬老乗車証の近鉄電車への利用等を検討した。今後、改善要望書を近鉄バスへ提出する予定である。

・他にも、本取組は向島地域全体で改善を進めていくことが重要であることを踏まえ、（高齢者の日常生活に必要と思われる）循環バスの検討や地域公共交通の充実の行政の支援を求む声が挙げられていた。

○2018 年度向島中央公園の改修工事について

・向島中央公園の施工業者が決定し、当初の計画通り、12 月末から工事開始（北側フェンスの撤去）を予定されているとの報告があった。なお電動車いす者が公園の全出入口を通行可能とする工事については、再度確認が必要である。

○住環境パトロールについて

・10 月 30 日（火）18 時から向島中央公園のパトロールを実施し、参加者から主に次の通り、指摘があった。①間伐で、ずいぶん見通しが良くなった。②木が邪魔になり、部分的に照明が暗いところがある。③南側歩道は全体的に照明が暗い。④園路が根上りなどで、でこぼこが多く、高齢者には危険である。

○今後の WG の進め方について

・WG の運営（進行、書記など）を地域住民へゆるやかに移行していく。

○次回 WG 予定

1 月 22 日（火）19：00～20：30 於.京都文教マイタウン向島（MJ）

**第7回ワーキング 平成31年1月22日（火） 参加者：13名**

○向島二の丸小・向島中跡地地元利用検討合同ワーキングについて

・向島中跡地地元利用検討合同ワーキング WG は第 8 回で終了し、今後は、地元利用運営委員会準備会（仮称）に移行し、管理組織や利用料金等を議論していくと報告があった。

○近鉄バスの運行改善方策検討の進め方について

・竹田駅行きの路線は乗客数が多いが、日中の循環バスの乗客数は極端に少ない。運行ダイヤの見直しのため、乗客数のデータ入手やセンター前のバス停改善に市の補助金を活用することを近鉄バスとの交渉の入り口にしたい。

・交渉を前に進めるためには、乗者数を増やす方策が必要だと考えている。その一環として、（ニーズが高いと思われる）自由乗降を取り入れるのも一案ではないか。また収益をあげるため、バス停に

広告料を取る等、検討できるのではないか。

#### ○2018年度向島中央公園の改修工事について

・工事の現状について報告の後、中央公園の支（サブ）園路の舗装の表面は、凹凸がないため降雨時は特に坂道は滑りやすくなる危険があると指摘があった。

#### ○住環境パトロールについて

・12月8日に、向島秀蓮小中学校の通学路（予定）の点検を実施した。3か所の入り口（校門）の内、正門（東側）前の横断歩道は、生徒が集中する登下校時は相当な混雑が予想されるので安全対策が必要である。

・次回：2月23日（土）14時から実施予定（向島中央公園東側石畳集合）

#### ○その他

・向島二ノ丸学区では子どもの登下校の見守り隊の協力者が住民の高齢化のため不足していると問題提起があり、「子ども・若者支援WG」でも検討するよう要請があった。

#### ○次回WG予定

3月12日(火) 19:00～20:30 於.京都文教マイタウン向島 (MJ)



<b>子ども・若者支援</b> (子育て世帯等支援含む)		担当取組項目：41～52
<p>【第3回推進会議以降の主な取り組み】</p> <p>○向島中学校跡地利用の検討について 跡地利用の具体的なイメージや運営案について議論を重ねてきた。また向島中学校跡地利用に関する運営団体「まちづくり協議会(仮称)」の立ち上げの提案や運営ルール案等について、今後も検討していく。</p> <p>○中高生を対象としたアンケート・ヒアリング等の実施について アンケート案を作成し、アンケート項目等について意見交換を行った。議論された内容をともに、アンケートを修正し、中高生を対象にアンケートを実施していく。</p> <p>○留学生との交流事業の実施について 留学生と地域住民が交流する「多文化交流ツアー『茶フォトコンバスツアー』」や映画祭ならびに多文化共生をテーマとしたワークショップ等を実施する。</p>		
主な構成メンバー (敬称略)	リーダー	長谷川(3街区G棟)、山内(向島藤ノ木学区民児協)
	進捗管理	三林(京都文教大学臨床心理学部教授)・杉本(京都文教大学総合社会学部教授)
	地域住民	高木(向島二ノ丸学区民児協)、増田(向島二ノ丸学区子ども見守り隊)日高(二の丸北学区社協)、本田・河野(伏見地区更生保護女性会)、上田(向島中学校PTAOB)、松本・松田(向島藤ノ木学区民児協)、西谷(向島南学区、向島中学校PTAOG)、土橋(MJ学習会運営)他
	事業者	須釜(城南保育園)、丸岡(城南児童館)、大濱(むかいじま健幸プラス)、田中(中部はすの実ひろば)、大下・村井(伏見青少年活動センター)、桐澤・田中・山本(伏見区社協)他
	その他	小林(京都文教大・京都文教マイタウン向島)、美留町(向島駅前まちづくり協議会)、沖野(市住宅公社)、山本(区役所子どもはぐくみ室)、長澤(龍谷大)他
今年度取り組むプログラム・取組	42	中学生の勉強場所の確保
	43	「アフター5スクール」づくりの推進
	46	市営住宅各街区集会所等既存施設の活用・改修による必要なサポート実施
	50	夜の安心安全な居場所、食の支援、学習支援
	52	子どもを育てる親世代への支援の拡充
主な活動の報告	第5回WG会議	○中高生を対象としたアンケート・ヒアリング等について ○向島中学校跡地の暫定利用について ○留学生との交流事業(案)について
	第6回WG会議	○中高生を対象としたアンケート・ヒアリング等について ○向島中学校跡地の暫定利用について ○留学生との交流事業(案)について
<b>第5回ワーキング 平成30年12月1日(土) 参加者：17名</b>		
<p>○中高生を対象としたアンケート・ヒアリング等について ・アンケート案を作成中。アンケート項目について(跡地利用等)、再検討する必要がある。</p> <p>○向島中学校跡地の暫定利用について</p>		

- ・運営の方法については、子ども・若者 WG から暫定利用の案を提案していく。
- ・ルール作りをする必要がある。0 歳児～35 歳まで。乳幼児と小学生・中学生・高校生以上が使う際にどのようなルールを作る必要があるのか、検討が必要。また何か事故が起きた時にどうように対応できるのか（ボランティア保険等の加入をするのか？）、合わせて検討していく。
- ・向島の地域住民や団体と、外部団体の分けが必要なのではないか。
- ・意思決定をする機関と現場で管理する機関を分けて運営を行う。利用団体が集まって会議をする場所も必要。事務局や意思決定をする機関等の画を描いて 12 月の向島中跡地地元利用検討合同ワーキングへ提示する。

○留学生との交流事業(案)について

- ・京都文教大学から、1 月 13 日に実施する「多文化交流ツアー」や 2 月 2 日に開催する「アジア・アフリカとびっさり映画祭&ワークショップ（仮称）」について報告があった。

○次回 WG 予定

1 月 12 日(土)10:00~12:00 於. 向島学生センターセミナーハウス 2 階研修室

**第 6 回ワーキング 平成 31 年 1 月 12 日(土) 参加者：17 名**

○中高生を対象としたアンケート・ヒアリング等について

- ・作成したアンケート案もとに説明がなされ、アンケート項目について意見交換がなされた。アンケート項目を再度、検討した後、修正版を「子ども・若者支援 WG」の ML にて共有予定。

○向島中学校跡地の暫定利用について

- ・暫定利用の運営（案）をもとにイメージを共有し、今後検討していくことが確認された。

組織概要	まちづくり協議会（仮称）		
	理事会	運営委員	
役割	意思決定	拠点の運営	支援事業担当
対象	住民代表・ 地域関係機関	跡地を維持・活用するために協力する組織・団体	向島地域に根ざし、支援活動に取り組みたいと考えている組織・団体・機関など
想定される業務	理事会の開催	・運営委員会の開催 ・草刈り、簡単な修繕、部屋の使用方法などのルール決めやスケジュールの調整	・運営委員会への参加 ・各機関の特徴を生かした、相談やアウトリーチ ・鍵や備品の受け渡し
経費	京都市との 契約主体	【会費・使用料】 例えば 1 時間 300 円 / 年会費 5000 円	【負担金】 30 万円ほどの必要経費を、構成団体で負担する

○留学生との交流事業(案)について

- ・多文化交流ツアー「茶フォトコンバスツアー」を 1 月 13 日に実施予定。和東町を訪問し、参加者は「茶」をテーマとした写真コンテストも行う。一般・留学生が参加予定。
- 「アジア・アフリカとびっさり映画祭（仮称）」を 2 月 2 日に実施予定。映画「スラムドッグミリオネア」の鑑賞と多文化交流をテーマとしたワークショップを実施予定。

○次回 WG 予定

3 月 7 日(木)13:00~14:30 於. 向島学生センターセミナーハウス 2 階研修室

<b>暮らし安心ワーキング</b> <b>(高齢者・障害者・多文化多世代交流)</b>		担当取組項目：14～17, 53～58
<b>【第3回推進会議以降の主な取り組み】</b> 今年度上半期に実施した他都市事例の調査や検討を踏まえ、セミナー、ワークショップなどを開催し、専門家の協力を得ながら、住民や事業者が参加する実践の場へと取組を進めていく。 ○セミナー「公営住宅を活用した地域支援活動拠点の実態について」の開催（2月17日） 札幌市立大学 山田信博准教授からの講演 他、交流会など ○障害のある当事者と住民が共同して進める災害準備のためのワークショップ（3月10日予定） 住民、障害のある当事者、関係機関によるタウンウォッチング、ワークショップなど ○向島二の丸小・向島中跡地における暮らし安心ワーキングで想定される地元利用活用案の検討 中国帰国者の交流拠点、にじいろプロジェクトの活動、福祉拠点、愛隣館の建替時の活用など ○認知症をテーマに、認知症カフェや居場所づくりについて検討を始める。		
<b>主な構成メンバー</b> <b>(敬称略)</b>	<b>リーダー</b>	黒多 (にじいろプロジェクト)
	<b>進捗管理</b>	齋藤 (京都市都市総務課企画調整係長)
	<b>地域住民</b>	佐々木 (向島二ノ丸学区民児協), 増田 (向島二ノ丸学区社協), 日高 (二の丸北学区社協), 田嶋 (向島藤ノ木学区社協), 山内 (向島藤ノ木学区民児協), 宇野 (向島東公園愛護協力会), 小山 (向島公団住宅自治会), 福井 (二の丸北各種団体連絡協議会), 小島 (1街区), 藤井 (3街区), 矢吹 (5街区), 松本 (6街区), 片桐 (7街区), 木村, 藤村 (11街区) 他
	<b>事業者</b>	平田, 佐藤 (愛隣館), 岩城, 福井 (むかいじま病院), 谷口 (あじさいガーデン伏見), 西川 (地域包括支援センター), 高田, 高村 (メディケア・リハビリ訪問看護ステーション), 清水 (リハビリテーション支援センター), 森田 (NPO 法人おはな), 中西 (ベテスダの家), 村山 (ぐんぐんハウス), 沖野 (市住宅公社) 他
	<b>その他</b>	吉村, 馬場, 杉本, 潘, 川崎 (京都文教大), 美留町 (向島駅前まちづくり協議会), 中嶋, 荒木 (伏見区役所) 他
<b>今年度取り組むプログラム・取組</b>	14 15 16 18 19 53 56 58	既存施設の活動拠点としての活用 市営住宅集会所・空き住戸の改修と活用 多文化・多世代交流の機会づくり 街区・学区を越えて誰もが集える多文化・多世代のまちづくりを進めるための拠点の整備の検討 多文化・多世代のまちづくりを進めるための拠点の運営主体となる住民組織, NPO等設立の検討 街区集会所等による生活サポート拠点づくり 健康づくりや文化活動等の事業連携, 情報の共有 総合的な生活支援サービス事業の実施

主な活動の報告	第5回 WG 会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公営住宅や小学校跡地等を活用した福祉の拠点づくりに向けた活動について</li> <li>○障害のある当事者と住民が共同して進める防災活動について</li> <li>○向島二の丸小・向島中 跡地活用について</li> <li>○11月17日シネマとトークの実施報告</li> <li>○その他</li> </ul>
	第6回 WG 会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公営住宅や小学校跡地等を活用した福祉の拠点づくりに向けた活動について</li> <li>○障害のある当事者と住民が共同して進める防災活動について</li> <li>○向島二の丸小・向島中 跡地活用について</li> <li>○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の暮らし安心について</li> <li>・中国帰国者 WG の立ち上げに向けて</li> </ul> </li> </ul>

**第5回ワーキング 平成30年12月1日(土) 参加者：16名**

- 公営住宅や小中学校跡地等を活用した福祉の拠点づくりに向けた活動について
  - ・札幌市立大の山田先生を招き、セミナーを開催する。講演だけでなく、事前に向島周辺の事業者等にアンケート調査（ニーズの把握等）を行うとともに、交流を兼ねた機会とする提案がされた。
- 障害のある当事者と住民が共同して進める防止活動について
  - ・京都市版ヘルプカードの作成について、報告・意見交換を行った。
  - ・障害の有無に関わらず、ヘルプカードを中国帰国者等にも活用できないか、中国語版も作れないか、という意見があった。
  - ・防災訓練に外国籍の方や障害のある方も来られるようになり、良かったという意見があった。
- 向島二の丸小・向島中 跡地活用について
  - ・あしなが育英会からの提案や暫定活用の検討を合わせて、関係者が集まって本格活用の議論を進めるべきではないか、といった意見があった。
  - ・あしなが育英会の提案は、推進会議の合意に基づき引き続き検討を進めていくこととし、子どもたちの活動も含めて福祉の拠点などの本格活用に向けた検討についても4年間の中で決められたら良いのではないかと、いった意見があった。
- 11月17日シネマとトークの実施報告
  - ・中国帰国者の方と話が出来て良かったが、もっと時間があれば良かった。中国帰国者の方が増えており、もっと交流の機会が必要ではないか、といった意見があった。
  - ・中国帰国者等 WG の立ち上げに向けて、準備会を立ち上げて関係者で話し合う、と報告があった。
- その他
  - ・認知症をテーマに「認知症カフェ」や居場所づくりの検討を始めてはどうか、と提案があった。
- 次回 WG

1月12日(土)13:00～15:00 於. セミナーハウス 2階研修室

**第6回ワーキング 平成31年1月12日(土) 参加者：24名**

- 公営住宅や小中学校跡地等を活用した福祉の拠点づくりに向けた活動について
  - ・セミナーの開催主旨、事業者向けアンケートの内容が確認された。
- 障害のある当事者と住民が共同して進める防止活動について
  - ・3月10日に国土問題研究所の中川先生に協力をいただき、タウンウォッチング・ワークショップを行うことが提案され、防災WGやにじいろプロジェクトと共催して進めていくことが確認された。
- 向島二の丸小・向島中 跡地活用について
  - ・愛隣館も跡地活用の運営会議に入っていたらどうか、愛隣館が仮移転される際に改修される設備がどの程度活用できるのか、といった質問や本格活用に向けて継続的に検討を進めていく必要があるのではないかと、いった意見があった。

○その他

- ・中国帰国者 WG の立ち上げに向け，3月17日に準備会を行うため，暮らし安心 WG のメンバーに参加依頼があった。

○次回 WG

3月5日(火)10:00～12:00 於. セミナーハウス 2階研修室

中国帰国者交流等ワーキング		担当取組項目：17, 59～64, 67, 95
<p><b>【第3回推進会議以降の主な取り組み】</b></p> <p>○ビジョンにおいて、中国帰国者の生活課題の解決や日中交流について、地域ぐるみで取り組むことがうたわれている。そこには言葉や生活習慣が異なる等の背景があるが、中国帰国者に限らず人のつながりの希薄化や孤立は、地域に共通する課題として解決が求められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度は、①夕陽紅の会の組織づくり（代表者の決定と連絡網づくり）、②交流の機会づくり（中国語チラシの作成と避難訓練への参加、中国映画の鑑賞と交流、向島まつりへの参加）など、ワーキング立ち上げに向けた準備を行ってきた。</li> <li>・平成31年度において中国帰国者交流等ワーキング（仮称）の活動スタートを目指して、ワーキングの立ち上げ準備会を3/16（土）に開催予定である。</li> </ul>		
主な構成メンバー （敬称略）	リーダー	—
	進捗管理	都市総務課，アルパック
	地域住民	夕陽紅の会，学区社会福祉協議会 他
	事業者	こうふく介護サービス，京都市向島地域包括支援センター，むかいじま病院 京都市社会福祉協議会 他
	その他	京都文教大，京都市総合企画局国際化推進室 他
今年度取り組むプログラム・取組	17	留学生・中国帰国者等と子どもたちの文化交流促進
	59	中国帰国者等の生活課題，ニーズや自助グループの活動におけるニーズを把握し，支援策等を検討
	60	中国帰国者等とのネットワークづくり
平成30年度 主な活動の報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・にじいろプロジェクト シネマとトーク 嗚呼 満蒙開拓団（11/17）中国帰国者と地域住民の交流会 約80名参加（中国帰国者20名，地域住民等53名，通訳の先生・学生7名）</li> <li>・二の丸北学区避難訓練（10/14），向島二の丸学区避難訓練（11/11，約10名参加），向島藤ノ木学区避難訓練（11/25，約7名参加）</li> </ul>	
○今後の取組 中国帰国者交流等ワーキング（準備会）の開催 3/16（日）		
①目的等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人のつながりが希薄になる孤立の問題は，中国帰国者も地域住民も共通しており，同様の生活のしづらさを抱えている。お互いに理解し合い，一緒になって暮らしやすいまちにしていくための取組につなげていくために，取組を実践する組織づくりを行う。</li> <li>・平成30年度に中国帰国者交流等ワーキングの準備会を開催する。平成31年度に，中国帰国者交流等ワーキングの立ち上げと活動のスタートを目指す。</li> </ul>		
②準備会の開催概要		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日時，場所 3/16（土）午後1:30～（夕陽紅の会開催日），5街区集会所</li> <li>・内容 ①趣旨説明，②交流プログラム，③グループに分かれて意見交換 意見交換 テーマ1 夕陽紅の会を広げていくためには テーマ2 中国帰国者交流等ワーキングの取組提案</li> <li>・参加者 夕陽紅の会10名，暮らし安心WGメンバー10名 通訳5名（5グループで意見交換）</li> </ul>		

## 防災ワーキング

担当取組項目：68～87

### 【第3回推進会議以降の主な取り組み】

- 平成29年度に検討を進めてきた「市営住宅空き住戸の緊急避難所（水害時垂直避難）」としての活用に向け、5街区市営住宅の1住戸をモデルとした運営体制・方法について利用検証訓練を踏まえて、二の丸学区自主防災会、地域包括支援センターと連携し、マニュアルの作成とさらなる具体的な実施検証訓練の準備を行っている。
  - ・ 利用検証訓練を実施し、実際に空き住戸への避難を呼びかけ、入室いただき、課題等の意見交換を行った。
  - ・ 利用検証訓練の結果やこれまでの検討内容をマニュアルにまとめる作業部会をつくり、これまでに2度ミーティングを実施、二の丸自主防災会会議でも情報共有、必要事項の検討を行っていただいた。
- 空き住戸の緊急避難先活用の検討や準備の過程を通じて、個別避難計画やその支援体制づくりの重要性が明らかになり、今後とりまとめるマニュアルの考え方はすべての人の命を守るために事前に検討、備えるべき事柄が整理されるものとして、他街区や学区でも有益なものになる成果が見込まれる。
  - ・ 他のワーキングや大学・愛隣館等の主催により、防災まち歩きワークショップや障害のある方の個別避難計画づくりワークショップなどにも取り組んでいる。
  - ・ 中国帰国者等の学区防災訓練への参加を呼びかけ、実際に参加。
- 向島5学区で共通する課題として、避難場所の確保とその避難経路や支援体制が挙げられている。向島二の丸学区の「わが家の避難計画」づくりや個別訪問の実施が他学区でも進められつつあるなど、これまでの取り組みの成果を他へ広げていくなどし、具体的な取り組みを今後検討していくことが必要になっている。

主な構成メンバー (敬称略)	リーダー	珍田 (向島藤ノ木学区自主防災会), 書記: 佐藤 (愛隣館)
	進捗管理	伏見区役所総務防災担当, 京都市都市総務課
	地域住民	珍田 (向島藤ノ木学区自主防), 岡崎 (二の丸北学区自主防) 児玉 (二の丸北学区自主防), 増田 (向島二ノ丸学区自主防), 矢吹 (日本自立生活センター (向島二ノ丸学区)), 上代 (向島学区自主防災会), 野崎 (向島南学区自主防災会), 奥田 (向島南学区), 福井 (二の丸北学区各種団体連絡協議会), 橋本 (10街区自治会) 他
	事業者	佐藤 (愛隣館), 西川 (地域包括支援センター), 桐澤 (伏見区社協) 他
	その他	杉本 (京都文教大), 谷本 (伏見区役所総務防災担当), 伏見消防署 向島出張所 他
今年度取り組むプログラム・取組	68	災害想定のお知らせ
	69	防災準備状況の定期チェックとノウハウ共有
	70	配慮が必要な住民の情報共有とニーズ調査
	72	周知媒体, マニュアル等の情報バリアフリー化
	73	多様な (二重三重の) 情報発信
	75	災害時要配慮者の避難誘導, 支援の関係, 体制づくり (関連: 74 避難行動シートづくり)
	76	防災訓練の見直し, 充実 (訓練への多様な人の参加)
	77	地域防災組織の充実
	78・79	空き家の避難所活用とマニュアル・ルールづくり
	81	ニュータウン全体の公園への防災設備設置

主な活動の報告	利用検証訓練	○5 街区 1 棟 410 号空き住戸の緊急避難先としての管理・利用方法・体制検討に向けた検証訓練を実施
	第 7 回 WG 会議	○5 街区市営住宅空き住戸の緊急避難先利用検証・訓練の報告共有 ○WG での今後の取り組み：向島 5 学区での防災の課題共有
	第 8 回 WG 会議	○5 街区市営住宅空き住戸の緊急避難先管理・運営マニュアル検討状況 ○向島 5 学区での共通課題について：避難場所と避難経路の確保

**5 街区 1 棟空き住戸緊急避難所活用 利用検証訓練 2018 年 11 月 30 日（金）午前**

**○事前**

- ・ 5 街区 1 棟 1～2 階の対象世帯へ事前個別訪問、ヒアリングを行ない、避難を必要とする世帯の確認を行った。

**○当日**

- ・ 対象世帯に 5 街区 1 棟 410 号室（緊急避難先空き住戸）に実際に避難をしていただき、設備や避難場所となった場合の不安、鍵の管理、避難支援や居室に必要な物品について意見交換を行った。

**○事後**

- ・ 出された意見や結果をまとめ、以下のワーキング及びマニュアル作業部会での検討に反映した。



**第 7 回ワーキング 2018 年 12 月 15 日（土）参加者：12 名**

**○5 街区市営住宅空き住戸の緊急避難先利用検証訓練の報告共有**

- ・ 玄関・トイレの段差、必要な備品（毛布・シーツなど）を住民に寄付して頂けないか、いす・管理トイレの設置場所・男女の居室を分けるなどの環境整備、浴槽に水を溜める手立て、防災グッズの各自持参、指定避難所から分散備蓄できないか、等々の挙がった意見を共有した。

**○次回ワーキング会議**

1 月 29 日（火）午前 10 時～ 場所：向島学生センターセミナーハウス

**第 1 回マニュアル作業部会 2019 年 1 月 10 日（木）参加者：6 名**

**○マニュアルの目的の確認**

- ・ マニュアルの作成目的について、まずは 5 街区 1 棟の空き住戸の活用をモデルに作成し、以後他街区で同様の検討を行う場合にすべきこと・検討すべきことも分かるマニュアルを目指すことにした。

**○マニュアルの構成の検討**

- ・ たたき台を元に、マニュアルに記載すべき項目と構成について検討し、整理、確認した。

**第 8 回ワーキング 2019 年 1 月 29 日（火）参加者：15 名**

**○マニュアルの進捗状況の確認**

- ・ マニュアル作成状況を共有した。

**○次年度の取り組みについて**

- ・ 向島 5 学区のそれぞれの状況を出し合う中（例：向島学区では水害時、桃陵中学校へ避難することで役所と話をしているが、どこまで住民に周知できているのか等）で、避難所開設や運営等に課題を持っていることを確認した。
- ・ 地震時の防災、障がいのある方や高齢者など災害時要配慮者への支援・個別避難計画作成、日本語



を母語とされない方への情報伝達方法等の意見が挙がった。

### ○次回ワーキング会議

2月23日（土）午前10時～ 場所：向島学生センターセミナーハウス

### 第2回マニュアル作業部会 2019年2月5日（火）参加者：6名

#### ○マニュアルの内容の検討

- ・二の丸自主防災会での意見を確認した。
- ・前回以後、地域包括支援センターにて検討を進めていただいた、避難支援と避難後の居室内での運営や支援方法等について、たたき台を元に検討を行い、整理した。
- ・次回の二の丸自主防災会会議及び防災ワーキングまでにこれまでの検討内容をマニュアル素案としてまとめることにした。

